

『医療情報ネット』で検索してみんさい！

医療情報ネット(ナビ)

診療日や治療内容など、
さまざまな情報から医療機関・
薬局を簡単に検索できます。



『広島市 休日当番医』で検索してみんさい！

休日当番医

休日に体調が悪くなった際は、
休日当番医をご利用ください。

受付時間 9:00～17:30



夜間急病センター 受診前に必ず電話でお問い合わせください。

広島市医師会千田町夜間急病センター	
診療科目	内科(15歳以上)、眼科、 整形外科・外科(けが)
受付時間	19:30～22:30
休 診	年末年始(12/31～1/3)
電話番号	082-504-9990
住 所	広島市中区千田町3丁目8-6

安佐医師会可部夜間急病センター	
診療科目	内科(15歳以上)
受付時間	19:00～22:30
休 診	日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)
電話番号	082-814-9910
住 所	広島市安佐北区可部南2丁目1-38

できるだけ日中の診療時間内にかかりつけ医を受診しましょう。夜間や休日は診察料金が高くなったり、待ち時間が長くなる場合があります。

かかりつけ医・歯科医・薬局の連絡先

医療機関名	電話番号
診療時間	休診日
医療機関名	電話番号
診療時間	休診日
医療機関名	電話番号
診療時間	休診日

受診時の持ち物

マイナ保険証等 診察券 お薬手帳 お財布 マスク (紹介状) (母子手帳)

いつから、どんな風に体調が悪くなったのかをメモに書いておきましょう。



広島市保存版『かしこい医療のトリセツ』

+++++

上手な医療のかかり方ガイド

医療を必要とするすべての市民の皆さんや、

病院や診療所等で
働く皆さんをまもるために、
『上手な医療のかかり方』を知り、
考え、行動することが大切です。

救急車は
緊急性の高い
患者のために
あるんだよ

気軽に相談できる
「かかりつけ医」を
持つとうや！



病院？救急車？判断に迷ったら…

救急相談センター

#7119 つながらない場合は
082-246-2000へ

急病やケガの際、救急車を呼ぶか、
病院に行くか、判断に迷った時に
相談できる窓口です。

相談時間

24時間365日対応

お子さんの急な病気に困ったら…

こどもの救急電話相談

#8000 つながらない場合は
082-555-8870へ

看護師が受診の必要性や症状に
応じた対処法をアドバイスします。

相談時間

平日19:00～翌朝8:00

土日祝・年末年始17:00～翌朝8:00





適切な受診で、安心の医療へ。「かかりつけ医」と「大病院」をかしこく使い分けるんじゃ！

体調に異変を感じた時、どこを受診すべきか迷うことはありませんか？医療機関にはそれぞれの役割があり、適切に利用することで、質の高い医療を効率的に受けられます。



日頃からあなたの健康を支えるパートナー かかりつけ医

かかりつけ医の役割

- 気軽に相談できる身近な存在です。
- 病歴や体質を把握しているため、きめ細やかな診療が受けられます。
- 初期の症状に対応し、必要に応じて専門医や大きな病院へ紹介してくれます。
- 健康管理や予防接種、検診についても相談できます。

まずは
かかりつけ医に
聞いてみようや



連携



いざという時に頼れる 大病院

大病院の役割

- 重たい病気や緊急性の高い症状に対応します。
- 専門的な検査や治療、高度な手術を行うことができます。
- 入院が必要な場合や、複数の診療科での連携治療が受けられます。
- かかりつけ医からの紹介を受けて、さらに詳しい検査や治療を進めます。

紹介状が
あったけえ、
スムーズに治療を
受けられたわあ



かかりつけ医から大病院を受診する流れ

step 01 まずは『かかりつけ医』へ
受診・相談しましょう。
ちょっとした体調不良や
持病の相談はここから。



step 02 大病院への『紹介状』を
書いてもらいましょう。
紹介状があれば、あなたの
情報がスムーズに伝わります。



紹介状って
大切なんじゃね

step 03 『紹介状』を持って
大病院を受診しましょう。
紹介状ご持参で、初診手続・
診療科案内までスムーズです。



ご注意を!!

紹介状を持参せずに大病院を受診した場合、待ち時間が長くなったり、初診料等の診察料金のほかに特別な料金がかかる場合があります。



大病院には緊急性の高い重症患者の診療を行う役割があります。緊急性の低い患者が多数受診すると、救急搬送される患者の受入が難しくなってしまいます。



あなたの適切な判断が、救える命につながります。救急車、適切に利用しとる？

近年、救急車の出動件数は増加傾向にあり、到着に時間がかかるケースも増えています。緊急ではない症状の場合は、救急車ではなく別の交通手段を利用して病院を受診しましょう。

救急車は、生命の危険が迫った方のためにある大切な社会資源です。

■ 救急車の現状

搬送された方の約半数は軽症です。

「交通手段がない」「どの病院に行けばいいかわからない」「救急車で行けば早く診てもらえるだろう」と安易に救急車を呼ぶ人が増えると、本当に必要な人のところに向かう救急車の到着が遅れ、『救える命』を救えないことにもなります。

重症以上 8.6%

中等症 42.9%

軽症 48.5%

※ 総務省消防庁
「令和6年版 救急・
救助の現況」参照



迷ったらチェック！救急車を呼ぶべきか迷った時の判断基準

■ 救急車を呼ぶべき症状

- ・意識がない
- ・大量の出血がある
- ・胸が強く痛む など

■ まずはかかりつけ医へ

- ・風邪や腹痛など、症状が軽い
- ・持病で普段と変わらない症状 など

本当に重症の人が
困らんように、
考えて使わんと
いけんわあ

